

学校教育目標

**夢の実現に向けて行動する子供の育成**

令和６年度

市川市立市川小学校

経営デザイン

(１) 一人一人を大切にし、児童が伸びやかに育つ学年学級経営

(２) 自分の生き方について考えを深めるキャリア教育の推進

(３) 自他の生命や人権を尊重する心、思いやりの育成

(４) 基礎基本の確実な定着と主体的で互いに学び合う授業の創造

(５) 生活習慣の確立や自立を促す健康教育・体力向上の推進

(６) 保護者や地域との連携を深め、信頼される学校づくり

学校経営方針

児童の姿

「行動する力」を持つ

問題や課題に向き合い、自ら考え行動する意識を高める

〇きまりや学習など、物事の意味を考え、納得して取り組み、

課題解決のための工夫ができる児童

〇よりよい生活習慣や、体力向上を目指すことができる児童

〇自己肯定感を持ち、他者を思いやり自分も大切にできる児童

**重　点　目　標**

探求的な学びの推進

〇好奇心(やる気スイッチ)を揺さぶる

授業の創造

〇国語科教育・読書活動の充実

〇体験学習(本物に触れる機会)の充実

〇ＩＣＴの効果的活用

〇家庭学習との連続性

学習用端末の活用推進

〇アナログとデジタルのベストミック

スの確立

〇日常的なタブレット活用の充実

〇家庭学習でのタブレット活用の推進

〇コミュニケーションツールとしての

タブレットの活用

言語能力の育成

〇考えを明確に伝える力の育成

〇「書く」活動の充実

〇児童相互の話し合い活動の充実

〇学校・家庭・地域で「本に親しむ」

体力の向上

〇正課体育の充実

〇ヘルシースクールの推進

〇家庭と協力し、望ましい生活習慣

の確立

〇食に関する教育の推進

〇安全教育の推進

多様な教育的ニーズに対応する学びの推進

〇効果的な教科担任制の導入　　〇本音で語る道徳・人権教育の充実　　〇交流活動・交流学習を通した多様性を認め合える児童の育成　　〇児童に寄り添う指導・支援体制の充実　　〇児童や保護者との日常的な教育相談の充実　　〇不登校を未然に防ぐための連携及び支援の充実　　〇外国人家庭への支援

**目指す教職員像　　「まなぶ楽しさ、できる楽しさ、ともに過ごす楽しさ、教える楽しさ」を伝えられる教職員**

**①「児童の実態に即した学習・生活指導」「児童や保護者に寄り添うこと」ができる教職員　②資質向上のため研修に取り組むことができる教職員**

**③心身ともに健康な教職員　④誰に対しても、明るく爽やかな挨拶ができる教職員 ⑤オンオフを大切にできる教職員**